

2016年9月期 第2四半期決算説明会資料

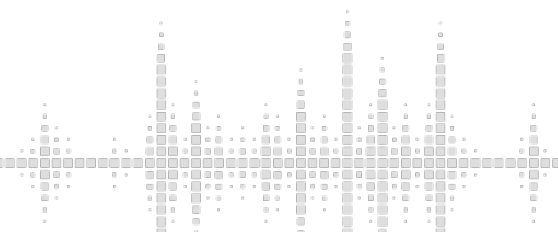
2016年5月16日(東京)
5月18日(大阪)



1. 2016年9月期第2四半期決算サマリー

2. 今後の取り組み

(ご参考資料)



事業セグメント



メジャリングシステム

MES
Measuring
Systems



TSS
Test & Solution
Service

テスト&ソリューションサービス

15%

売上
構成比

振動シミュレーションシステム
(振動試験装置・複合試験装置)

76%

DSS
Dynamic
Simulation
Systems





(単位:百万円)

	16/9中間期 実績	15/9中間期 実績	コメント
売上高	5,466	5,467	自動車関連業界を中心に順調に売上は推移したものの、航空宇宙関連の大型案件がなかったことにより、減収となりました。
経常利益	810	1,199	東京テストラボ上野原サイト開設に伴う人員や減価償却費の増加等により、前年同期比67.6%の減益となりました。
純資産	4,979	4,405	当期純利益(520百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	104	5	当期純利益の減少等により営業活動による収入は減少したものの、設備関連の支出が前期と比べて減少したことにより、フリーキャッシュフローは増加しました。
売上高経常利益率	14.8%	21.9%	東京テストラボ上野原サイト開設に伴う人員や減価償却費の増加等の影響により低下しました。
自己資本比率	40.7%	40.0%	当期純利益(520百万円)の計上により純資産が増加し、財務安全性がさらに向上しました。
自己資本当期純利益率 (ROE)	10.9%	18.9%	当期純利益(520百万円)が前年同期比67.9%と減少したことにより、自己資本当期純利益率は減少しました。

決算概要(連結)



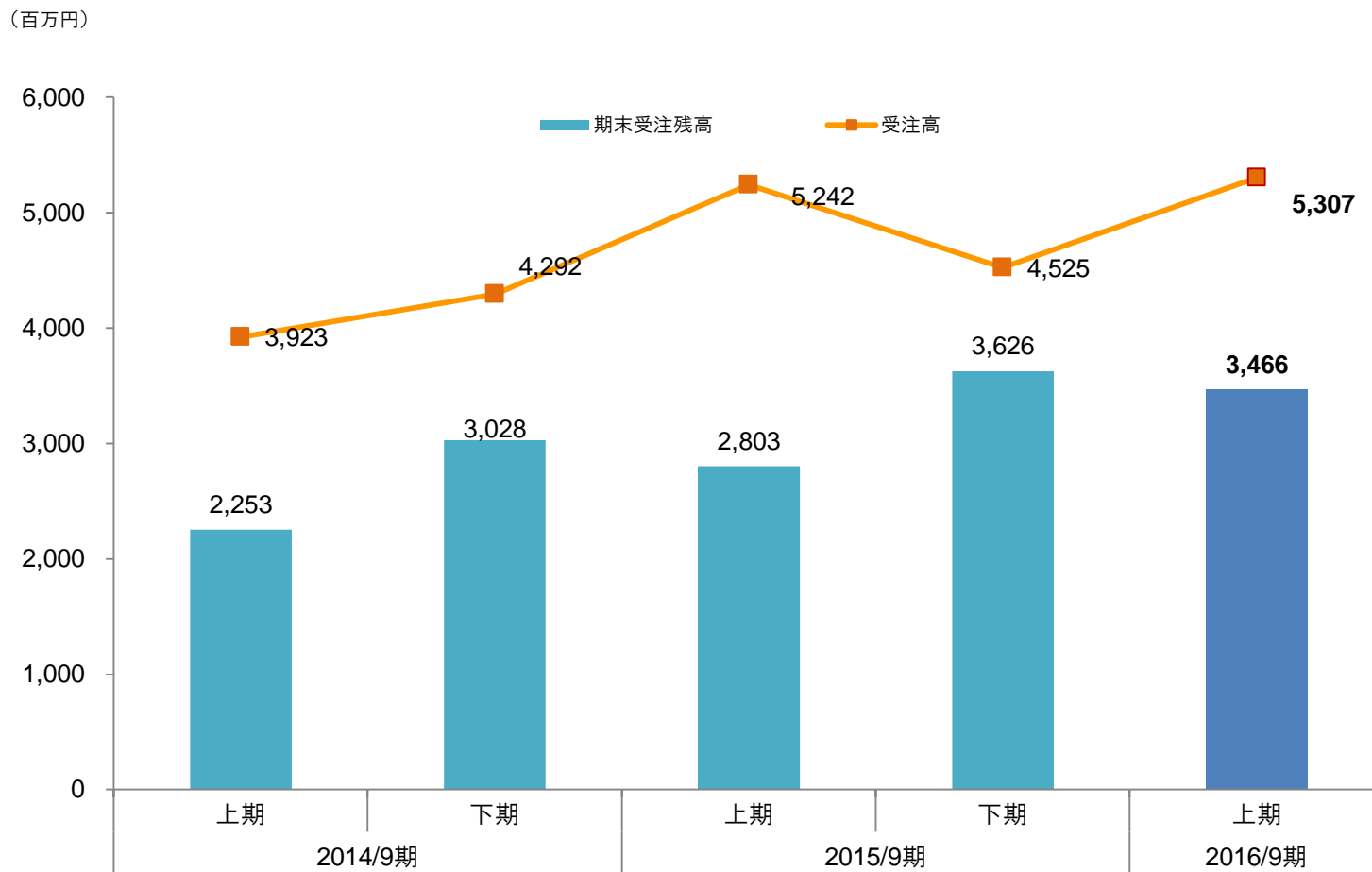
(単位:百万円)

	16/9期中間期 実績	15/9中間期 実績	増減額	増減率	16/9期中間期 予想	増減率
受注高	5,307	5,242	+64	+1.2%	—	—
売上高	5,466	5,467	△0	△0.0%	5,000	+9.3%
営業利益 (営業利益率)	844 (15.4%)	1,189 (21.8%)	△345	△29.1%	750 (15.0%)	+12.6%
経常利益 (経常利益率)	810 (14.8%)	1,199 (21.9%)	△389	△32.4%	775 (15.5%)	+4.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	520 (9.5%)	767 (14.0%)	△246	△32.1%	500 (10.0%)	+4.2%
設備投資額	295	532	△237	△44.6%	259	+13.7%
減価償却費	153	102	+51	+50.2%	186	△18.0%
研究開発費	246	256	△10	△4.0%	364	△32.5%
従業員数(人)※	253	222	+31	+14.0%	246	+2.8%

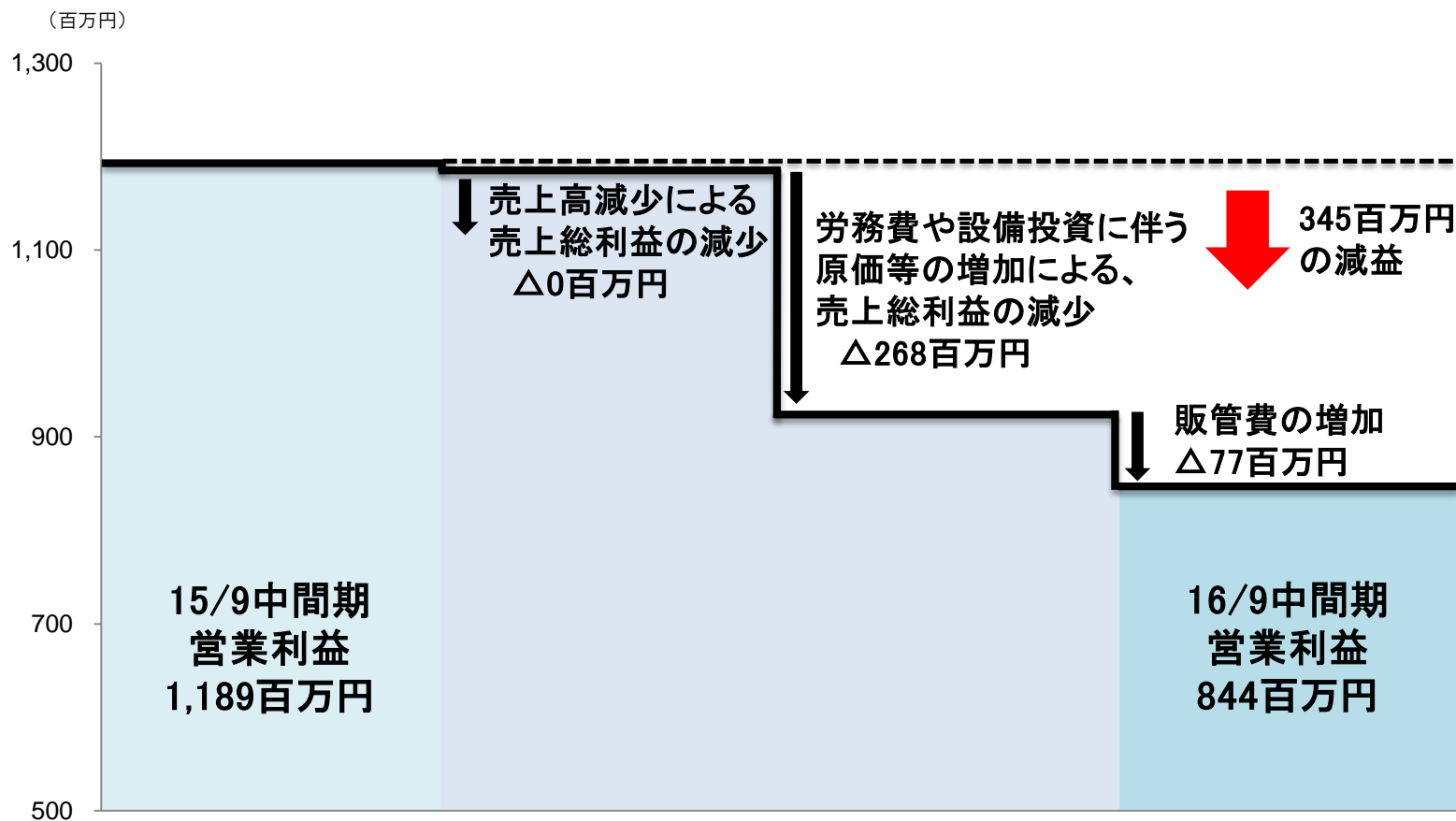
※△は損失、減少を表します。従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前年同期とほぼ横ばいの5,466百万円となりました。人員増加や設備投資に伴う費用負担の増加により、営業利益は前期比345百万円減益の844百万円、経常利益は前期比389百万円減益の810百万円となりました。当期純利益は前期比246百万円減益の520百万円となりました。

受注の状況

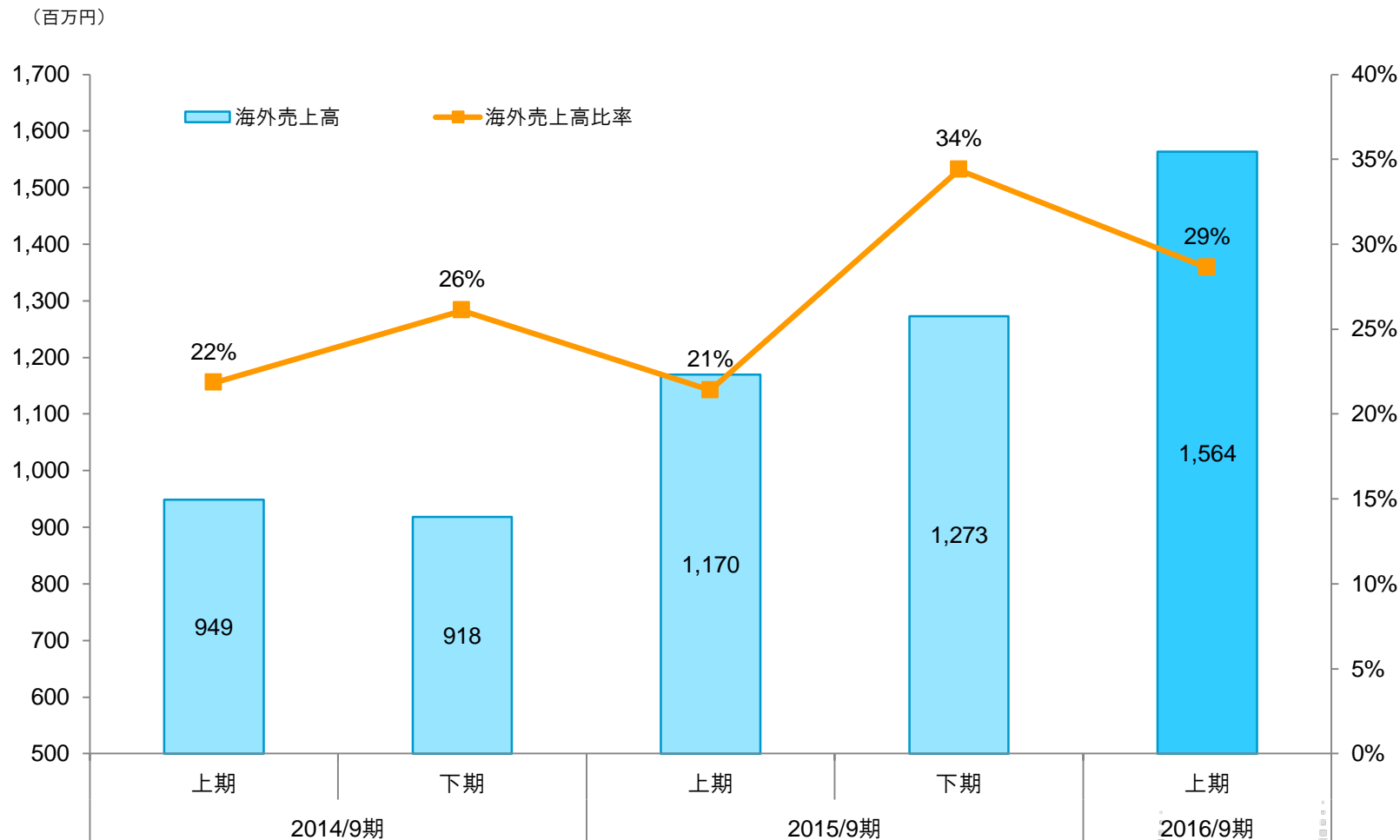


営業利益増減要因(連結)



人材確保による労務費の増加及び東京テストラボ上野原サイト開設に伴う減価償却費の増加等により、原価及び販管費が増加し、営業利益は345百万円の減益となりました。

海外売上高比率の増減



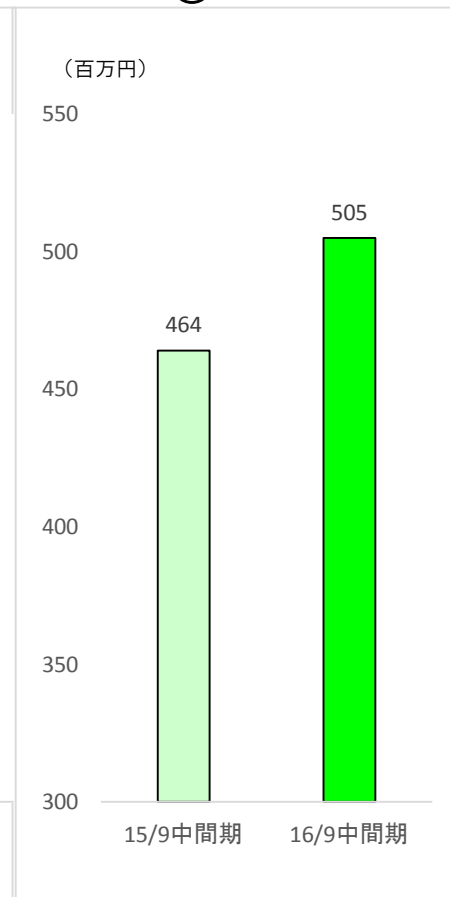
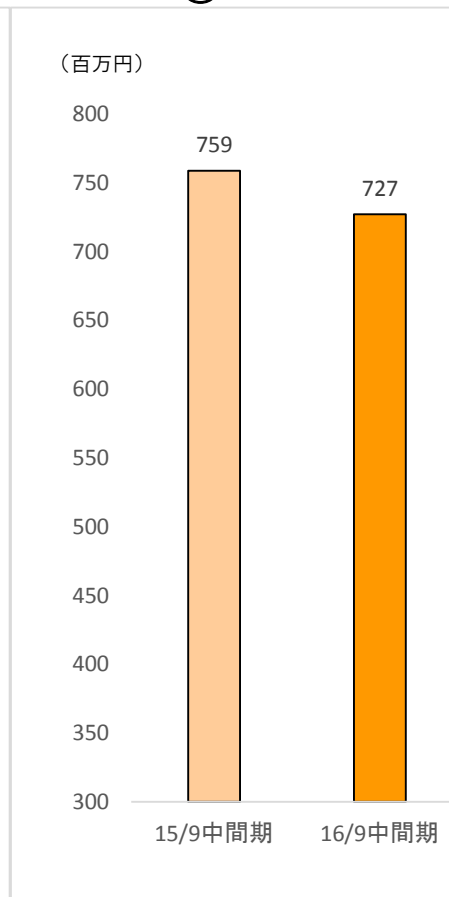
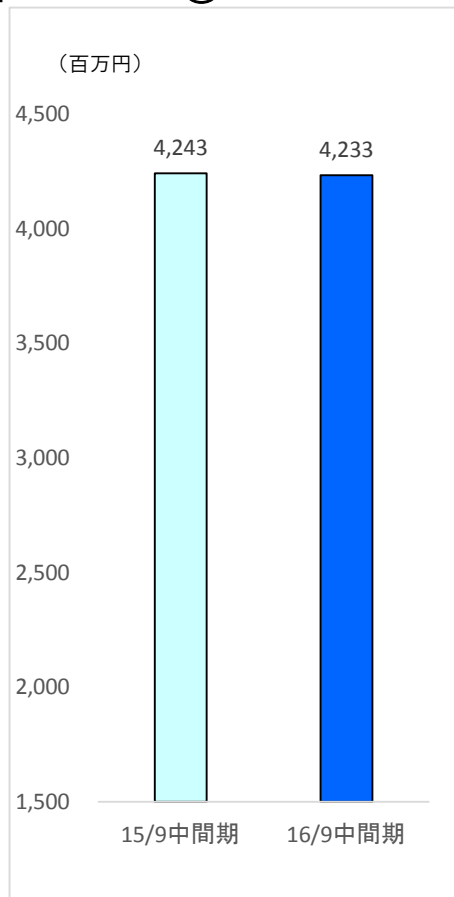
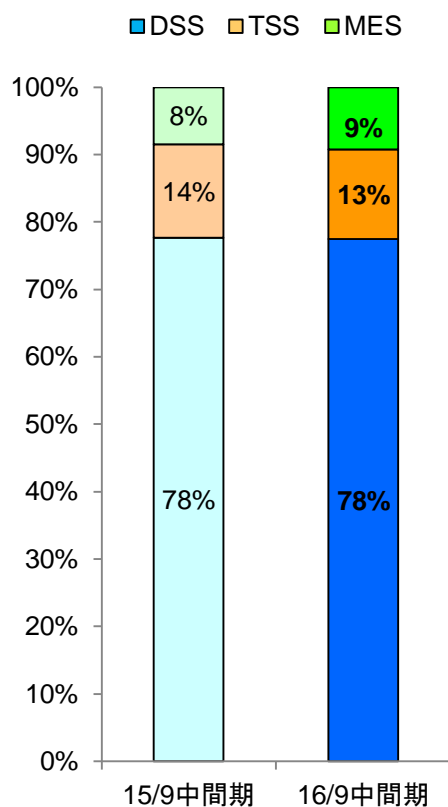


○ 品目別売上構成率

○ DSS

○ TSS

○ MES



DSSは、海外売上が増加したものの、前期に計上した大型案件が少なかったことにより、前年同期を若干下回る結果となり、品目別売上構成率は前年同期と横ばいの78%となりました。

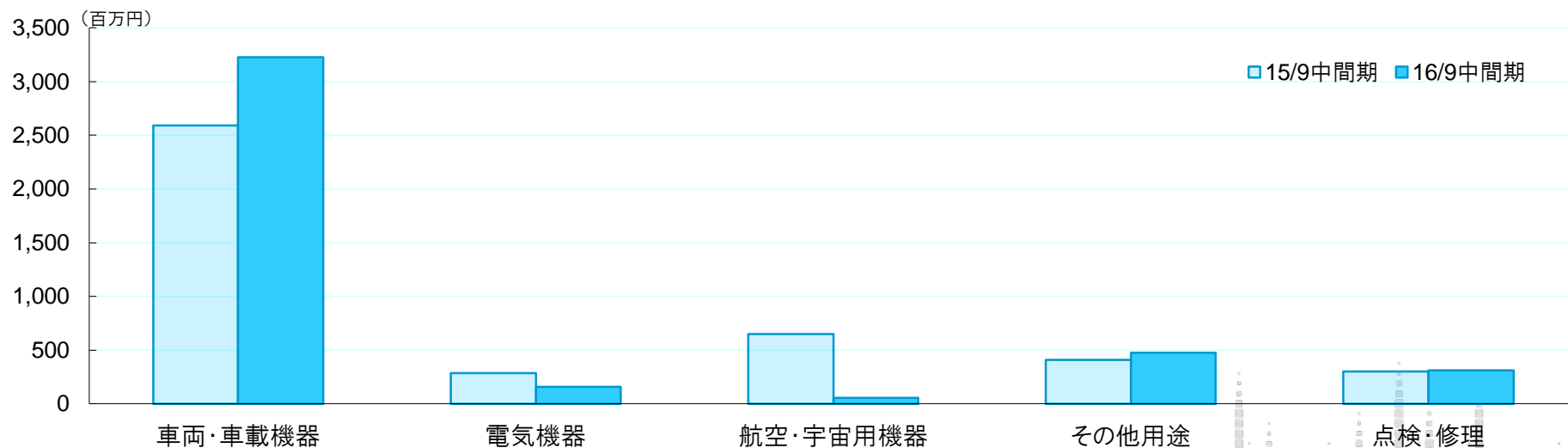
DSS ~概況~



(単位:百万円)

	16/9中間期	15/9中間期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	3,229	2,592	+636	+24.6%
電気機器向け	157	288	△131	△45.5%
航空・宇宙用機器向け	57	651	△594	△91.2%
その他用途向け	477	410	+67	+16.3%
点検・修理	312	299	+12	+4.3%
合計	4,233	4,243	△9	△0.2%

- 車両・車載機器向け売上は、リチウムイオン電池、EV対応用検査装置仕様の増加に伴い好調に推移いたしました。
- ヨーロッパ及び韓国において車両・車載機器向けのDSS売上も増加しております。
- 航空・宇宙用機器向け売上は、前年同期に計上した大型案件がなかったことにより、減少いたしました。



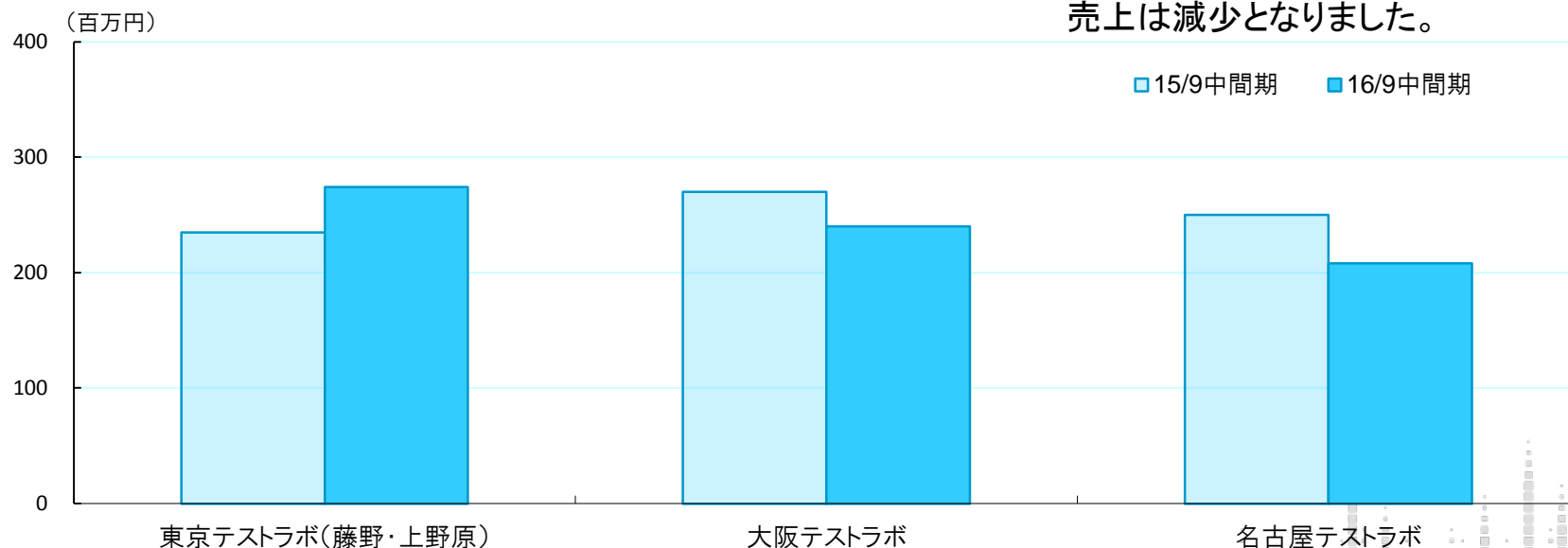
TSS ~概況~



(単位:百万円)

	16/9中間期	15/9中間期	増減額	増減率
東京テストラボ (藤野・上野原)	274	235	+38	+16.4%
大阪テストラボ	240	270	△29	△10.8%
名古屋テストラボ	208	250	△42	△16.8%
子会社外部売上	3	2	+0	+29.4%
合計	727	759	△31	△4.2%

- 東京テストラボは、上野原サイトの設置作業等により稼働率が低下したものの、本格稼働開始により、売上が増加いたしました。
- 大阪テストラボは、鉄道車両用機器向けの試験が順調に推移したものの、上野原サイトにおける開設作業及び国際認定取得のための準備等により、稼働率が一部低下したため、売上は減少となりました。
- 名古屋テストラボは、東海地区における市場への新規参入企業があったことにより、売上は減少となりました。



MES ~概況~

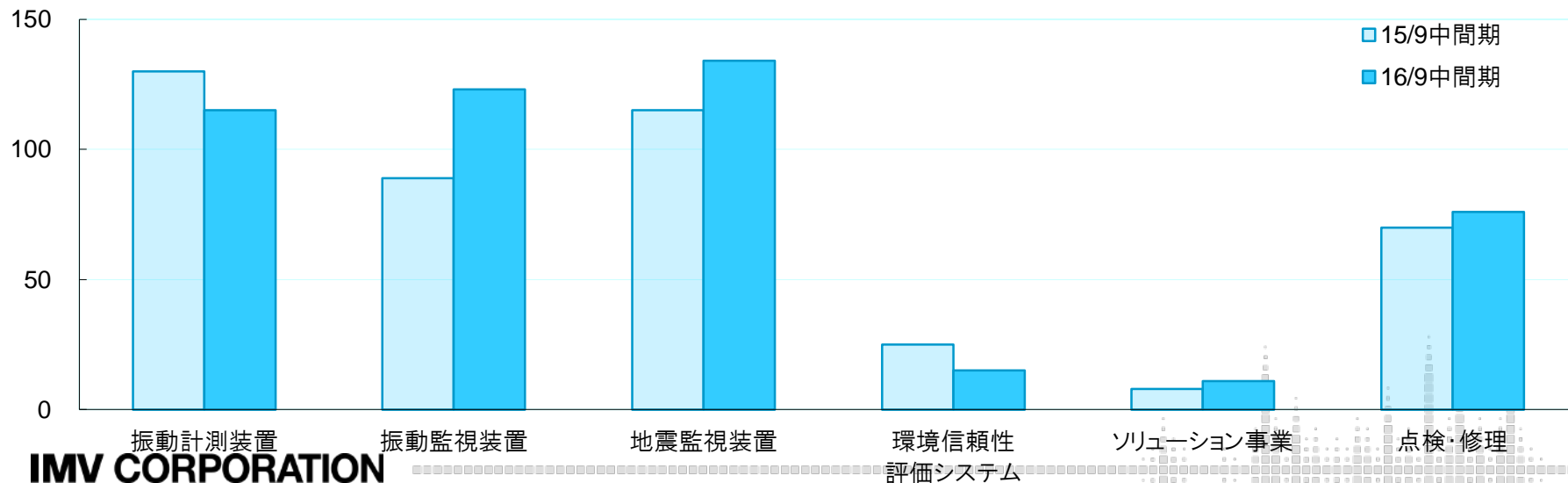


(単位:百万円)

	16/9中間期	15/9中間期	増減額	増減率
振動計測装置	115	130	△14	△11.3%
振動監視装置	123	89	+33	+37.7%
地震監視装置	134	115	+18	+16.2%
環境信頼性評価システム	15	25	△10	△40.8%
ソリューション事業	11	8	+3	+47.8%
点検・修理	76	70	+5	+8.3%
子会社外部売上	28	24	+3	+15.7%
合計	505	464	+41	+8.8%

- 高性能加速度センサモジュールを用いた「HM-0013」や「エレベーター用感震器」等の販売活動を行いました。
- 中国・台湾への地震監視装置の販売が順調に推移いたしました。
- 国内において発電所向けの振動監視装置の販売も順調に推移いたしました。

(百万円)



業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	16/9期 予想	15/9期 実績	増減額	増減率
売上高	9,500	9,170	+329	+3.6%
営業利益 (営業利益率)	1,200 (12.6%)	1,377 (15.0%)	△177	△12.9%
経常利益 (経常利益率)	1,250 (13.2%)	1,400 (15.3%)	△150	△10.7%
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	800 (8.4%)	902 (9.8%)	△102	△11.4%
設備投資	444	1,534	△1,089	△71.0%
減価償却費	430	226	+204	+90.3%
研究開発費	617	515	+101	+19.8%
従業員数(人)※	250	242	+8	+3.3%
1株当たり配当金(円)※	6.50	6.50	—	—

※ 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

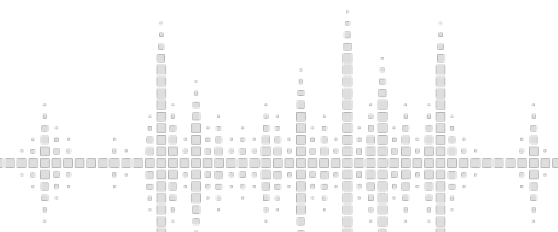
※16/9期の配当金につきましては、2016年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。



1. 2016年9月期第2四半期決算サマリー

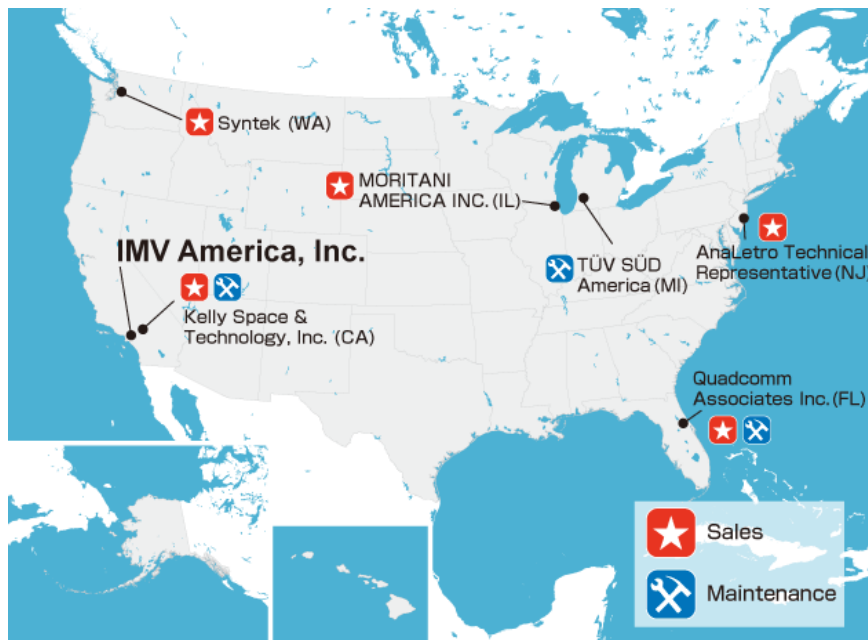
2. 今後の取り組み

(ご参考資料)



DSS事業

アメリカ法人設立



(1)	名 称	IMV America, Inc.
(2)	所 在 地	アメリカ合衆国カリフォルニア州
(3)	代表者の役職・氏名	柿原 正治
(4)	事 業 内 容	振動シミュレーションシステムの販売及びメンテナンスサービス
(5)	資 本 金	30万米ドル
(6)	設 立 年 月 日	2016年4月
(7)	大株主及び持株比率	当社 100%



IMVの優位性をさらに高めるための開発計画を進める

<メーカー適用表>	単軸装置 市場		多軸装置 市場
	小～大型	超大型	
海外競合メーカー	○	○	×
IMV	○	△ (一部海外調達)	○

●IMV 100%内製化
(競争力のある超大型装置の自社開発)

●高性能化によるさらなる差別化
(試験時間短縮、よりリアルでかつ高振動数の振動再現が可能な多軸装置の開発)

★海外市場(特に航空宇宙産業分野)への本格参入。
★国内市場の更新需要の確保

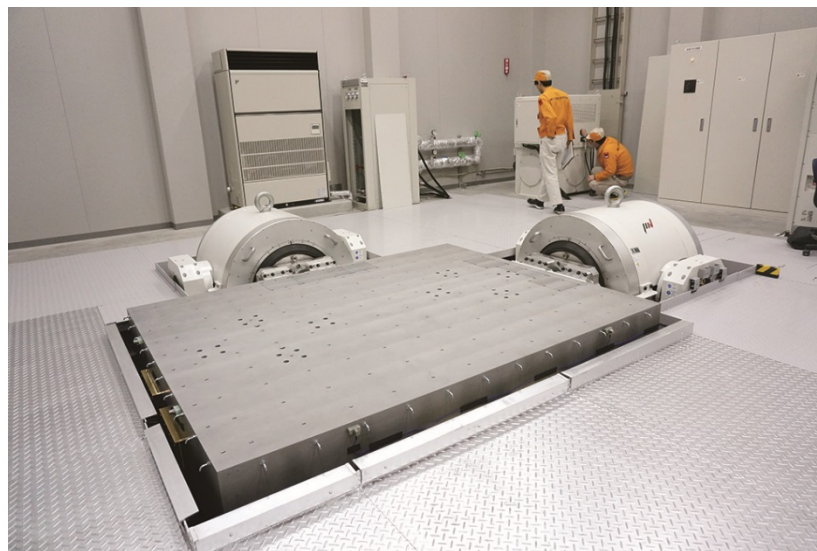
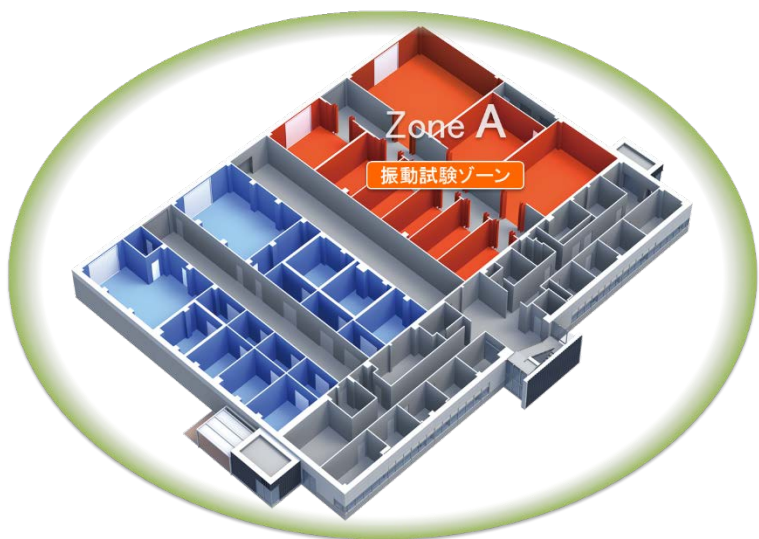
★新しい品質評価方法の確立による海外市場の新規開拓
★国内市場の掘り起こし



大型3軸耐震試験装置を配備

- ・最大搭載質量：2,500kg
- ・振動台寸法：2,500×2,500mm
- ・最大変位：～300mm
- ・使用振動数範囲：～100Hz

- ・地震波再現試験等に対応

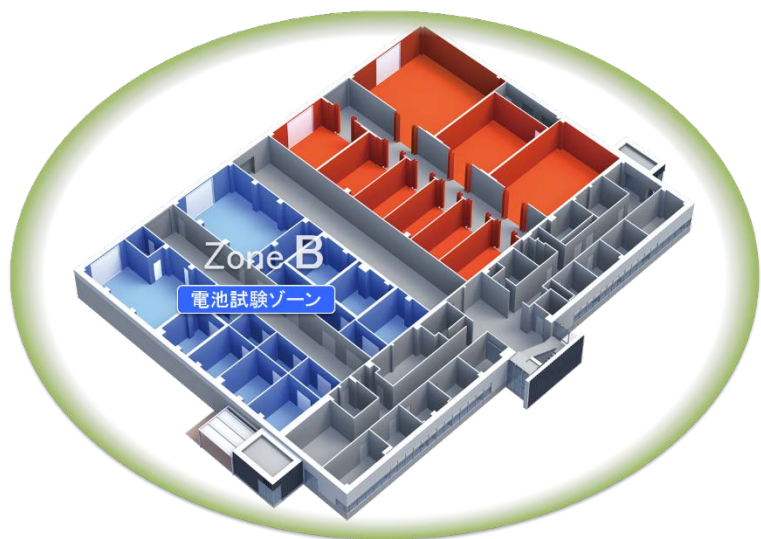


2016年7月稼働予定



東京テストラボ上野原サイト「高度試験センター」

増設予定の試験設備



減圧試験設備

強制放電試験設備

外部短絡試験設備

衝突・圧壊試験設備

複合環境試験設備

過充電試験設備

振動
温度
充放電サイクル



1. 価格重視顧客への対応
ラボの改修とコースの充実
シンプルユースコースと長期使用コース

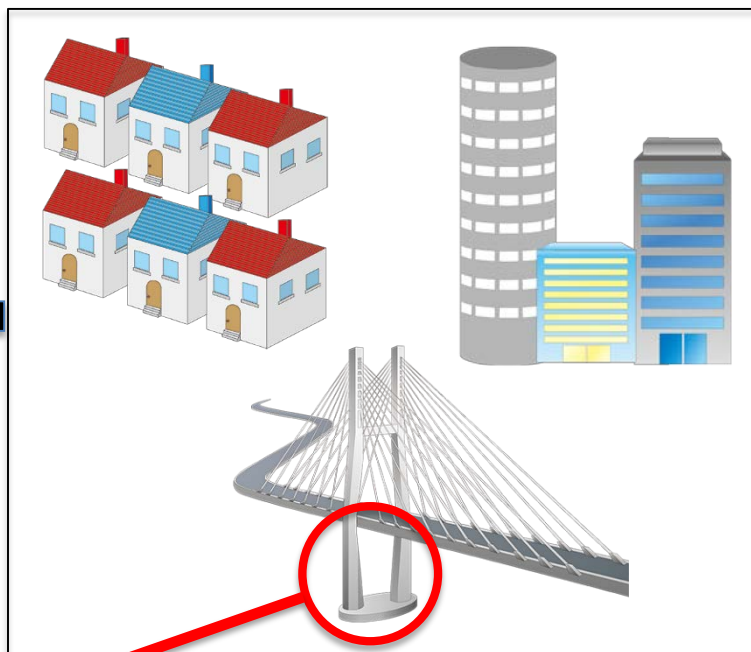
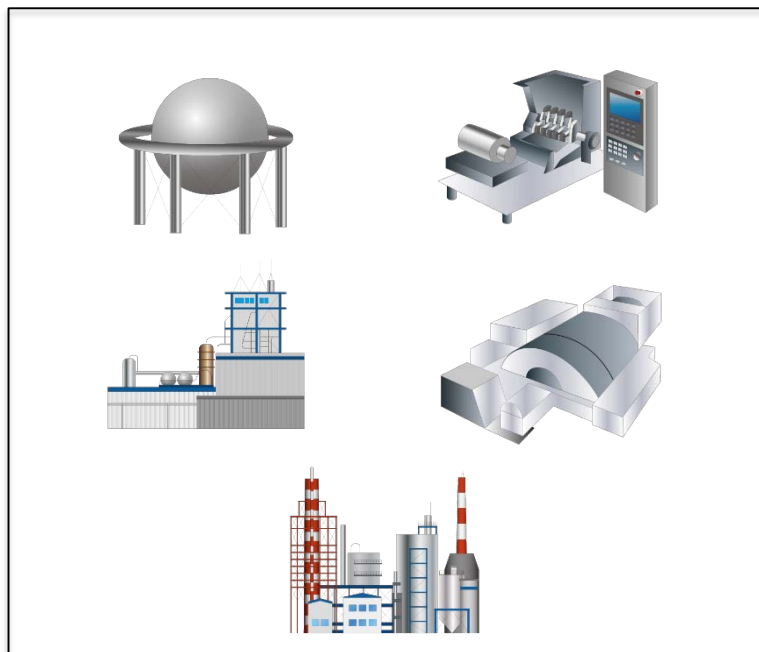
2. 顧客への利便性アップ
ヘビーユーザーから要望の強い
「試験機器の空き情報」の提供



MES事業

MES拡大のために

産業インフラから社会インフラへ



国土交通省主催のSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に採用され、大阪市立大学と競業での橋梁ヘルスマニタリングを実施。

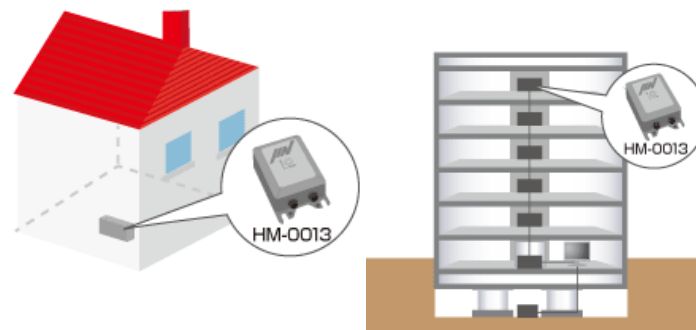


高性能加速度センサモジュール

- 地震の揺れに対して高感度なセンサー



低域(10Hz以下)の振動を
精度よく測ることが可能



耐震、防振ゴムの製造メーカー
住宅メーカー、
エレベーターメーカー ……など



Air3



- Bluetoothを用いた携帯型の振動計測装置
- Windows Tablet上で動作するため、Windows PCとの親和性に優れる。

今秋、販売予定

ありがとうございました



代表取締役会長

小嶋 成夫

代表取締役社長

小嶋 淳平

経営企画本部長代行

濱里 一也

■ お問い合わせ先

IR窓口：経営企画本部経理部 IR担当 坂本

TEL：06-6478-2565

FAX：06-6478-2567

E-MAIL：imvir@imv.co.jp

<http://www.imv.co.jp>

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

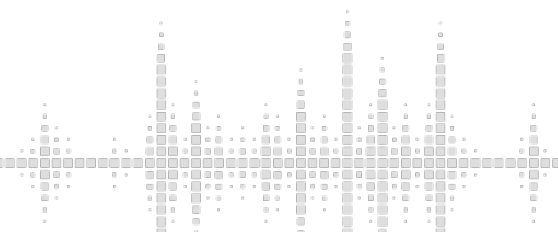
本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



1. 2016年9月期第2四半期決算サマリー

2. 今後の取り組み

(ご参考資料)



貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	16/9中間期末	15/9期末	増減額		16/9中間期末	15/9期末	増減額
流動資産	7,867	6,632	+1,235	流動負債	5,679	4,755	+923
現金預金	1,643	1,623	+19	仕入債務	2,382	2,117	+265
売上債権	4,084	2,786	+1,297	短期有利子負債	2,200	1,697	+503
棚卸資産	1,883	1,902	△19	その他流動負債	1,095	941	+154.
その他流動資産	256	319	△62	固定負債	1,564	1,685	△121
固定資産	4,355	4,348	+6	長期有利子負債	1,232	1,395	△163
有形固定資産	4,006	4,085	△78	その他固定負債	332	289	+42
無形固定資産	79	33	+46	負債合計	7,243	6,441	+802
投資その他資産	268	229	+38	純資産合計	4,979	4,539	+439
資産合計	12,222	10,980	+1,241	負債・純資産合計	12,222	10,980	+1,241

資産の部 : 売上債権が1,297百万円増加いたしました。

負債の部 : 仕入債務が265百万円増加し、短期有利子負債は503百万円増加いたしました。

長期有利子負債は、163百万円減少いたしました。

純資産の部 : 純資産は439百万円増加いたしました。

キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		16/9中間期	15/9中間期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	374	527	△153
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	△270	△522	+252
①+②	フリーキャッシュフロー	104	5	+99
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	△71	572	△644
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	△19	10	△29
⑤	現金及び現金同等物の増減額	13	588	△574
⑥	現金及び現金同等物期首残高	1,399	1,487	△87
⑦	現金及び現金同等物期末残高	1,413	2,075	△662

営業CF :税金等調整前四半期純利益810百万円及び棚卸資産の減少262百万円等の増加要因が、売上債権の増加669百万円等の減少要因を上回ったことにより、374百万円の増加となりました。

投資CF :東京テストラボ上野原サイトの設備投資等の有形固定資産の取得による支出320百万円等により、270百万円の減少となりました。

フリーキャッシュフロー:有形固定資産取得による支出の減少によりフリーキャッシュフローは104百万円となり、前年同期比99百万円増加いたしました。

財務CF :長期借入金の返済による支出205百万円及び配当金の支払いによる支出106百万円等による減少要因が短期借入金の純増額240百万円等の増加要因を上回ったことにより、71百万円の減少となりました。



商号	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	1957年(昭和32年)4月17日
資本金	4億6481万円
従業員数	242名 (2015年9月30日現在 連結)
年間売上高	91億7,049万円 (2015年9月期 連結)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	7760
決算期	9月30日





- 1957 株式会社国際機械振動研究所(旧社名)を設立
- 1988 東京テストラボ開設
- 2005 ジャスダック証券取引所に上場
- 2011 10月、英国に IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED)
- 2012 1月、タイに IMV (THAILAND) CO., LTD. (子会社)を設立
11月、ドイツに IMV CORPORATION German Sales Office を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED German Sales Office)



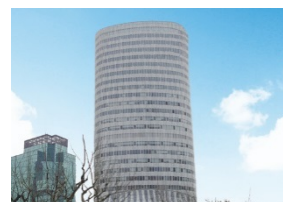
IMV EUROPE LIMITED



IMV (THAILAND) CO., LTD.



IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office



IMV株式会社 上海代表所



IMV EUROPE LIMITED
European Manufacturing Centre

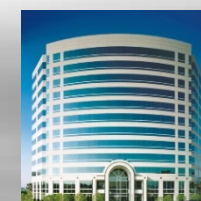
- 2013 5月、IMV株式会社 上海代表所を設立

- 2015 1月、英国にIMV EUROPE LIMITED European Manufacturing Centreを開設
11月、東京テストラボ 上野原サイト 高度試験センターを開設

- 2016 4月、米国にIMV America, Inc.(子会社)を開設



東京テストラボ 上野原サイト
高度試験センター



IMV America, Inc.



[SECURE THE FUTURE]



FIRST choice
for our Partners

IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題のソリューションパートナーとしてさまざまな分野と携わってきました。これからも、製品→パートナー→社会に対して、信頼を形にする企業であり続けます。

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.